



アミール・ツアルファティ  
[2026 年 01 月 23 日 ニュース速報]  
先制攻撃が差し迫っているのか？  
[https://youtu.be/TE3\\_UAU8v5I](https://youtu.be/TE3_UAU8v5I)



香港からシャローム、そしておはようございます。最後のカンファレンス、Discovering Daniel カンファレンスに向かう途中です。しかし、中東で多くの出来事が起きているので、短いアップデートです。これで話のすべてが明らかになると思います。

約 1 時間前、米務省の報道官が次のように述べました。「米国はイランに対し、弾道ミサイル計画と核計画を放棄するよう要求した。」そして最後にこう締めくくりました。「今イランで起きていることは大きな悲劇だ。」

さて、これに注意を払うことが、なぜそれほど重要なのか？ なぜなら、報道官は最初、イスラエルがなぜイランを攻撃しなければならないかに言及したからです。イスラエルは、イランが数千発の弾道ミサイルを保有し、そして、イスラエルを破壊することを目的とした核計画を再開することは容認できない。これがイスラエル側です。そして、その記者会見の結びの言葉が「イランで起きていることは悲劇だ」。もちろんそれは 4 万人以上の国民が、イランの邪悪な政権によって殺害されたことを受けた「助けが向かっている」に関連します。

私が言いたいのは、イスラエルとアメリカの両国が、イランに対処するであろう何かのための土台が整いつつある、ということです。

最後に皆さんにお伝えしたいのは、トルコ外務大臣が、テレビのインタビューで噂を広めているということです。「イスラエルが、まずイランを攻撃しようとしている。」イランは少し不安になって、こう考えるかもしれません。「そうだな、そうすると、我々はイスラエルが行動を起こすまで待つわ

けにはいかない。先制攻撃しなければ。」その場合、もしイスラエルが、弾道ミサイルの準備や燃料補給、発射装置の移動や、ミサイルの移動、配置、その他を目にすれば、もし、我々がそれを目撃すれば、私たちはその前に行動を起こさなければなりません。もちろん、そうなれば、米 국무省が話した最初の 2 つの問題に対処することにつながります。既存の弾道ミサイルによる脅威の除去です。そして、イスラエルが先制攻撃をしなければならない場合…必要に迫られて、イラン側が先制攻撃を企んでいると我々は考えているため、もし、我々が先に攻撃しなければならないなら、高い可能性で、政権交代はアメリカに任せるでしょう。「助けが向かっている」とアメリカが約束していますから。そして、アヤトラを排除するのは、アメリカの仕事です。それから、明らかに、イスラエル空軍よりもより大きな戦力が必要になるでしょう。

つまり、結論を言うと、6 月の 12 日間戦争で、イスラエルが最初に攻撃し、IRGC の指揮階層の差し迫った脅威と、核計画の背後にいる者たち、それから、地上にある発射装置とミサイルすべてを排除し、アメリカにイランの核施設へ最後の打撃を与えることを任せた時と同様、おそらく今回も、イスラエルがまず攻撃し、差し迫った脅威を排除してから、その後、アメリカの攻撃を見ることになるでしょう。政権を転覆させることを、もしアメリカが選ぶなら、おそらく、私たちは、アメリカにそれを任せるでしょう。

私が言いたいのは、私たちが今見ているものはすべて、誤算から始まる可能性があるということです。トルコが煽っています。なぜなら、彼らは、ただ傍観してこのすべてを楽しんでいるのです。トルコは、アメリカがシリアで行ったことすべての中で、最大の勝者です。アメリカは無意識のうちに、あるいは意識的に、私は無意識だと思いますが、アル・ジュラニと取引し、実質的にクルド人を犠牲にしました。そしてアメリカは、シリアに新たな政権と新たなシリア軍を創設すると考えながら、現実には、ISIS にシリアを支配させることになりました。ただ、シリアを支配している ISIS の人間は、ISIS の制服を脱ぎ、スーツや、“適切”な軍服を着ていますが、彼らは ISIS です。彼らの行動は、すべてが ISIS、彼らは同じ精神異常集団です。ですから、エルドアンは、このすべてを楽しんでいます。彼はシリアで起こっていることを喜び、彼はイランの弱体化を喜んでいます。そして同時に彼は、イランに対しては彼らを支持している、彼らには自分たちを守る権利があると思う、彼らがその状況に

対処した方法は勇敢だった、などと伝えます。彼は両側を煽りながら、それを傍観して楽しんでいるのです。

これが現在の状況です。エルドアンは、イスラエルが攻撃を仕掛けるという噂を流して、この事態を煽っています。イランは誤算して前進するかもしれません。そしてもし、イランがバカなことをしたら、イスラエルは対処せざるを得なくなるでしょう。そして、アメリカが政権交代させることを選ぶなら、それはアメリカに任せるでしょう。政権交代なしに、イランの勇敢な国民が、この悪魔のような抑圧から解放されることは決してありません。問題は、政権交代が必要かどうかではなく、問題は、政権交代が起こるかどうか、です。それについては、私には分かりません。

はい、聞いてください。以上が香港からの緊急ニュースです。私は最後のカンファレンスに向かっています。明日も教会で講演し、その後帰宅する予定です。帰れることを願います。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル



ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

---